

令和5年度

広島大学 医療現場からの ニーズ発表会

2/29 木
17:00~19:00
(開場 16:30)

定員：会場100人/WEB300人
【参加費無料・ハイブリッド開催】

広島大学は、AMED事業の1つ、“次世代医療機器連携拠点整備等事業”に令和元年度採択)され、トランスレーショナルリサーチセンターを中心に関連部局が協力して拠点整備に取り組んで参りました。

このたび、現在最終年度として、医療・ヘルスケア機器の開発に繋がる“臨床現場のニーズ”について発表会を開催します（ひろしま医療機器開発セミナー同時開催）。参加される皆様と一丸となって地域産業の発展の一助となるよう、製品開発を目指していく所存です。医療機器等製品の開発にご興味のあるものづくり企業等、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場

広島大学霞キャンパス
凌雲棟R204（広島市南区霞1-2-3）

参加申込

2月28日正午まで！



- ・スマートフォンをお使いの方
→QRコードをカメラで読みこんでください。
- ・PCをお使いの方
→下記リンクからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/GXiZkpT7xM>

プログラム

開会挨拶

トランスレーショナルリサーチセンター センター長

花之内 健仁

拠点の活動紹介

トランスレーショナルリサーチセンター ニーズ探索・育成部門 部門長

繁本 憲文

産学連携部バイオデザイン部門 研究員

管 仕成

医療現場からのニーズ発表

- 『ゲノム医療に必要な病理ティッシュプロセッサの開発』

広島大学病院 診療支援部 病理検査部門 部門長

石田 克成

- 『遠隔診療システムの開発』

広島大学病院 漢方診療センター 研究員

李 弘揚

- 『直腸粘膜生検において確実に組織を視認できる生検補助器具の開発』

広島大学病院 周産母子センター 講師

佐伯 勇

支援プログラムの紹介

広島県・山口県の支援プログラムの紹介

中締め挨拶

トランスレーショナルリサーチセンター ニーズ探索・育成部門 部門長

繁本 憲文

対面参加者との意見交換会・ポスターセッション

ニーズを発表した講師と会場参加の皆様と対面で意見交換できます

